

## 門真市北部地区優先主要生活道路事業説明会

### ○開催概要

#### 【本町自治会館】

日 時：令和5年11月28日（火） 19時～20時30分

参加人数：13人

#### 【西小路自治会館】

日 時：令和5年11月29日（水） 19時～20時30分

参加人数：19人

#### 【元町自治会館】

日 時：令和5年12月4日（月） 19時～20時30分

参加人数：11人

### ○主な質問及び回答（後日回答も含む）

項目	質問	回答	質問者 (自治会名) ※門真市本町第一自治会・ 本町西自治会は同日開催の ため、併せて「本町」と表記 しています
事業全般について	現状、事業としてどの程度進んでいるのか。	建物補償契約の件数を基準とした場合、70%程度進んでいる。	西小路
	整備完成はいつになるのか。	沿道地権者の方との移転協議があるため整備時期は、未定であるが、早期の整備を目指して取り組んでいる。	本町
	なぜ今の時期に説明会を実施するのか。	道路設計について関係機関協議を進め、幅員構成の案などを一定お示しできる段階になったこと、また、新たな交通規制について、地域の皆様のご意見を伺うため実施するもの。	西小路・元町
	本事業は収用法に基づく収用事業か、任意事業か。	任意事業として実施している。	西小路

	収用法に基づく税控除を適用しないのか。	税務署と協議の上、収用事業に準ずる事業として税控除の対象としている。	西小路
	任意事業ということだが協力いただけない方はどうするのか。最終的には収用により強制的な手段をとることもあり得るのか。	任意事業のため、地権者の方に丁寧にご説明を重ねて合意を得られるように進めている。現時点では、収用事業として行う予定はない。	西小路
	都市計画道路にして、建築物が建つ前から制限をかける等の事業方法があったのではないのか。	地震時に著しく危険な密集市街地を早期に解消していくことが重要であるため、都市計画道路事業ではなく任意事業により実施している。	西小路
	道路拡幅に伴う用途地域の変更の予定はあるのか。市の税収確保のためにも、建築規制等が緩和される用途地域への変更を検討されたい。	ご意見として今後、参考に検討させていただく。	西小路
密集市街地の解消について	現状も昭和 46 年の航空写真のような危険な密集市街地の状態がつづいているのか。	建て替わり等による変化はあるが、現在でも石原町・大倉町の古川橋北地区、小路町・元町・本町の西部地区は国土交通省の指定する「地震時等に著しく危険な密集市街地」が形成している。	本町
	8.1 メートルの幅員で延焼を防げるというデータはあるのか。	GIS (地理情報システム) によるシミュレーション等から、8.1 メートルの幅員であれば、クラスターが分断されて延焼範囲が小さくなる事については確認している。	元町
	すでに周辺に幅員が広めの道路もあるが、なぜこの道路を拡幅するの	大規模な地震時を想定して、延焼を効果的に低減させる道路として選定した。ネットワーク	西小路・元町

	か。 延焼遮断を目的としているのに、なぜ対面通行にするのか。	や交通安全のことも考慮して整備しなければならないため、警察や道路管理者と協議の上安全性を考慮して整備したい。	
	延焼危険性や緊急車両の通行を目的とした事業であるから、早期に整備を行われたい。	早期の整備に向けて鋭意取り組んでいく。	本町
道路整備について	京阪電鉄の高架下部分についても拡幅を行うのか。	高架下部分についても、拡幅に向けて京阪電鉄と協議を行う。	本町・西小路・元町
	幅員構成について、車道の幅が十分でないと思われるので、車両のすれ違い時の安全性を確保されたい。	幅員構成についてはご意見もお伺いしながら今後、関係機関等と協議を進める。	西小路
	優先主要生活道路の整備と合わせ、影響が及ぶ接続道路についても安全確保ができるよう検討されたい。	関係機関等及び地元の皆様と協議の上、検討する。	西小路
	歩道と車道の境はどのような対策をするのか。	駐車違反を抑制したり、歩行者の安全を確保するため、歩行者と車両の分離を図る道路構造物を設置する等を検討する。 沿道の方の土地活用にも対応しながら安全を確保する対策を検討する。	元町
	歩道は両側に付けなければならない。	道路用地買収後に残る地権者用地を考慮すると幅員として8.1メートルが妥当であり、この幅員の範囲で、警察等と協議を進めている。歩道については、車椅子等の通行を踏まえると一定の幅員を必要とするた	元町

		め片側歩道の案を示したもの。	
	整備後に危険箇所があった場合には対応してもらえるのか。	状況に応じ、対策を検討する。	西小路
	現状、道路面と宅地の高さにレベル差があり、道が斜めになっているが、整備によりどうなるのか。	道路整備時に、勾配等確認の上、可能な限り高さを調節した施工を行う。	本町
	集団登校等で、児童の安全を確保するため、横断歩道を交差点の北・南両方に設置して欲しい。	本ご意見を踏まえて、今後警察協議のうえで決定する。	元町
	信号があれば安全性が高くなると思うが、信号機の設置については検討しているのか。	信号の設置については、現状では警察に対し信号設置希望の協議は行っていない。信号機設置のご意見は、警察に伝える。	西小路・元町
	高齢者の方等も多く通行するので、ちょっと腰かけられるようなベンチがあればよいのではないか。	小路町の旧自治会館跡地に小規模な広場を整備する予定である。ベンチ等の設置についても検討を行う。	元町
規制について	何故一方通行規制を解除して対面通行にするのか。	道路を拡幅することから一方通行規制を解除し、地域の利便性を向上させるために、まずは対面通行で検討を進めている。	元町
	規制したとしても速度制限・重量制限等を守らない車もいるので、規制を守るような工夫ができないか。	規制についてはドライバーが守らなければいけない義務であるが、危険な箇所には規制に併せて道路整備の中で注意喚起ができるような対策を検討する。	西小路・元町
	大型商業施設の影響もあり、通過交通が増えるので、交通量転換の対策を考えられたい。	本ご意見を踏まえて、今後警察協議のうえで対策を検討する。	本町・西小路・元町

<p>相互通行による交通量の増加や、道幅が狭くなる箇所での危険性は予測されるので、速度制限等警察と協力して違反車を積極的に取り締まる等を厳しく行っていく必要がある。</p>		
<p>相互通行で交通量が増え、安全確保が出来ないようであれば一方通行のままにしてほしい。</p>	<p>規制解除については地元の意見をお伺いしながら進めることになるが、道路を拡幅することから一方通行規制を解除し、地域の利便性を向上させるために、対面通行を検討している。 交通規制等で安全対策を講じた上で一方通行規制を解除する。</p>	<p>本町・西小路</p>
<p>沿道の地権者は対面通行になるという想定で協力しているため、対面通行で整備されたい。</p>	<p>本市としては、交通規制等で安全対策を講じた上で対面通行で進めている。</p>	<p>西小路</p>
<p>規制案の制限速度 30kmは速いと感じる。安全面に配慮してさらに速度を制限できないか。</p>	<p>設定可能な速度規制の中で、最も速度が遅い規制とするよう警察と協議を行っている。</p>	<p>本町</p>
<p>交通量が増え、危険になる。生活道路と言いながら周辺住民の生活が考えられていない。</p>	<p>周辺住民の方の利便性と安全性が両立できるよう検討を進める。</p>	<p>元町</p>